

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラクタル

慈愛の種を播きましょう
SOW THE SEEDS OF LOVE

IBARAKI ROTARY
Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中栄一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL. (0726) 22-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL. (0726) 20-2121
 会長/藤井 實 幹 事/中西 勲 会報委員長/秋山 勲
 委員/山本、日野岡、森下、今村



姉妹クラブ:台北 西北区 扶輪社
 友好クラブ:インドネシア・チネレRC

No. 12 平成14年10月 2日

本日の卓話
10月2日(水)
「職業奉仕フォーラム」
山田慶子委員長

例会記録

第2115 回例会 9月25日(水)晴
 ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 井上暎夫ガバナー (国際R-列-第2660地区)

会長の時間

藤井 實会長

本日の茨木3RC 合同のクラブ例会に、ご多忙中にも拘わりませず国際ロータリー第2660地区の井上暎夫ガバナーと橋本陽二ガバナー補佐の御出席をいただき、厚く御礼申し上げます。

また去る9月22日の秋の交通安全運転講習会には各クラブから多数の方々の御奉仕をいただき、今後の交通安全に寄与することができると期待されます。

茨木市は大阪府内でも特に交通の要所で171号線や大阪・高槻線が走り、老人や自転車での交通事故が多発していることが警告されていますので、これらロータリアンの奉仕活動は誠に有難いこととあります。さて、今年度は国際ロータリーの共通スローガン『慈

出席報告

第2115 回例会			前々回(第2113回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
39 (14)	22	3	88 %	2	92 %

茨木30名、茨木東25名、茨木西30名、合計85名の出席を頂きました。

愛の種を播きましょう』に基づき、我々茨木3RC 共々クラブ活動の活性化、地域奉仕活動の推進や各クラブの行事発展の重要な年となっております。

本日はこれら茨木3RC の活動のあり方や問題点について、井上ガバナー、橋本ガバナー補佐の良きお話をたまわり、絶大なるご指導をいただきたいと願っております。皆様には何卒宜しく御静聴いただきますようお願い申し上げます。ホスト会長の御挨拶と致します。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問を記念して大森パストガバナーの発声にて乾杯

卓話

「茨木3RC 合同ガバナー公式訪問」

RI 第2660地区 井上暎夫ガバナー

本年度の公式訪問はリーダーシッププランを採用したので大変様変わりしています。

リーダーシッププランの目的のひとつはRI の経費の削減です。たとえば東京地区はサイパンを抱えていますが、新しいプランでは必ずしもガバナーが公式訪問をしなくてよく、その費用が助かるということ、もうひとつはガバナーの公式訪問の負担が軽くなるということです。また公式訪問は今回の様に合同例会が望まれます。

茨木東矢野会長からロータリーは時代の流れにふさわしい変化が求められていると言われました。ポールハリスが生きていたら現在の变化したロータリーの有り様に驚くのではないかと思います。私が入会した30年前は、例会出席を60%割ると自動退会となったり、一業種一人を厳密に守っていたりで、クラブ運営は大変厳格でした。現在では必ずしも厳格に運営されているわけではありません。たとえばパイロットクラブがあります。パイロットクラブでは現在のルールは無視して独自の運営が出来るわけです。

隔週の例会を行っているパイロットクラブがあります。しかしそれで会員が増加しているわけではありません。常に現在のままのルールがいいか見直しています。しかしロータリーには変えていけないルールがあります。時代を超えた原則があります。それは友情と奉仕であります。現在世界でロータリアンが減りつつありますが、それはこの原則を忘れたからであると思いません。会員数を増やして、ロータリー財団を肥大化して、国連のような大々的な仕事をしようとする動きもあるが私は賛成しません。

かってロータリー内部で we serve か I serve かの論争をしました。

駅前をきれいにするという運動を考えた場合、会員が掃除するという方法と (I serve) 資金を出して、業者に頼むという方法 (we serve) がありますが、I serve の考え方では 会員が掃除をすることにより、駅前をきれいにするためにどうすればいいかを考え、それを家族に話し、職場で話し そうすることにより奉仕の輪が広がっていくと考えます。資金を出して専門の業者に清掃を依頼したのではきれいななるのはその時だけで、社会全体には広がりません。

もうひとつのロータリーの理念は職業奉仕ではありません。自分たちは職業を通じて生活しているのですが、またその職業を社会が必要としているといえます。ですから職業に高い倫理観、高度の専門性を持つように研鑽をすればそれが社会全体をよくすることになるのです。このような意識を一人一人がもつことがロータリアンの基本であります。今年度 R I 会長ビチャイ・ラタクルさんが述べられたように R I 会長の指令が伝わってそれを実行するのがロータリーではなく、各クラブが自発的に奉仕をすることが大切であります。

ロータリーの指導者は羊飼いのようでありたいとも言われました。羊飼いは羊の群れの最後において、群れから外れる羊を元に戻す、群れが向かっている方向が正しいか判談する、時には群れの中に入っていきます。

R I 会長ビチャイ・ラタクルさんは、例会に出席する、会費を遅れずに払うということでロータリアンとしての責務を果たしていると思っていた。あるとき母子家庭の子供を海岸に招待するという行事があった。手伝ってほしいという要望があったが仕事があり手伝えなかった。どうしてもということでお手伝いをしたが、子供たちの中で、一人疎外された、近寄って気軽に話できそうにない少年がいた。どういうわけかその少年がビチャイさんに寄ってきて、一緒にボートに乗ることとなった。だんだん打ち解けて来て話をするようになってきた。行事の最後みんなを送っていったが、家の前に行ってもその少年だけは帰ろうとせずビチャイさんに抱きついてきた。そしてあなたが本当のお父

さんだったらよかったのと言った。その一言を聞いて今までは本当のロータリアンでなかったと悟った。と話されています。こういう感動こそがロータリーの精神です。お金を出すだけでなく、行動して奉仕することがロータリーの本質です。

たくさんの知り合いを作ることがロータリーの原点です。I serve の心を持つ同志の連帯感の下で 一人一人の職業を通じ職場、地域をよくして行くことが大切です。

本年度ロータリー財団の最優先事業はポリオの撲滅です。ロータリーは 2005 年までにポリオを撲滅すると宣言しています。ポリオがいまだ残っている国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ソマリア、ナイジェリアなどの紛争地帯の 10 か国です。このような地域で予防活動をするには移動距離が長いこともあって多額の費用が必要です。総額 8000 万ドル必要です。ロータリアン一人当たり 70 ドル 1 万円ぐらいとなります。是非ご協力お願いいたします。

謝 辞

茨木 R C 会長 藤井 實

ポールハリス、ビチャイさんのロータリー基本精神からお話いただきました。今後の参考にし、いっそう各クラブの活性化、友情の強化につなげていきたいと思えます。今後とも厳しくご指導賜りますようお願い申し上げます。今後も毎年 3 クラブ連合の会をもっていきたいと思えます。

ニコニコ箱

井上ガバナー公式訪問有難うございました	中西
ガバナーの良いお話有難うございます	木本
3 R C 合同例会の司会を記念して	野田
井上ガバナーの公式訪問を感謝して	大森
井上ガバナーをお迎えして	高田
遅刻お詫び	高田
井上ガバナー、橋本ガバナー補佐、茨木 3 R C 合同例会に出席頂き有難うございます	田中
ガバナー公式訪問ご苦労様です	山田
バッチわすれました	山田

本日計 30,000円

累計 578,000円

次回卓話

「米山月間に因んで」

米山奨学生 RIZA MUHIDA 氏